



飯能ロータリークラブ会報

唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida



ロータリーのマジック

RI会長 ステファニー A. アーチック

第2570地区ガバナー 五十幡和彦
第3グループ
ガバナー補佐 倉片順司

入って良かったロータリー

第3156例会 2025. 2. 5

—— 世界理解月間 ——

天候 晴 (NO. 61-33)

会長 森 健二 幹事 大崎光二

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 吉澤君、山口君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 ☎357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 ☎357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

<http://www.hanno-rc.org/>

E-mail hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 森会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト唱和 吉島職業奉仕委員
- ・ビジター (所沢) クラブ管理運営委員長
本橋敬明様
プログラム委員長
吉田 慶様
- ・卓話 平井純子様

◎細田伴次郎会員

米寿おめでとう
ございます。

(拍手)



【会長報告】

所沢RCの本橋さん、吉田さん、ようこそ。倉片ガバナー補佐からは昨年、全員にコースターを頂いて、私も使っております。よろしくお伝え下さい。

平井先生、卓話よろしく申し上げます。飯能RCと駿河台大学は手を携えて飯能市のためにいろいろやっていかななくてはいけないのかなと私自身は考えています。今後共ご協力

よろしくお願い致します。

「2月2日」の節分は4年に1回位だそうですが、皆さん恵方巻とか食べられましたか。お店にはすごい量の恵方巻が売られていて、売れ残ったら廃棄するんだろうなと思って複雑な気分になりました。

東京都の学校で、給食の食材が余って廃棄するのがもったいないということで、給食のおばちゃんがおにぎりや唐揚げを作って、夜中まで頑張っている教職員に提供したのだそうです。そうしたら教育委員会から減俸処分を受けました。理由は定かではありませんが給食費で買ったものを勝手に使うなとか、食中毒の危険性があるということかもしれません。校長も厳重処分を受けたそうです。「みんなのためになるかどうか」とありましたが、ルールはルールかもしれませんが、頑張っている先生方に報いたいという思いで一息懸命作った、そういう人が処分されてどうなのかなと感じました。こういう気持ちは大事にしていきたいような気は致します。

先程、理事会で新入会員が1名承認されました。次回、資料を配付し、1週間異論が無ければ3月の第1例会で入会式を行います。

先週の水曜日、青年会議所(JC)の新年会

に参加しました。内沼県議ほか多くのご来賓と共に盛大に開催されました。明日の観光協会の新年会で私も全て終了となります。面白かったのはJCのスローガン、「本気で遊べ。」。今のJCは本当にいろんなことを勉強しています。RCもそうですが、地域のためにいろんなことをやっていますし、考えています。

私は昔、将棋をしていまして、米長邦雄棋士の大ファンでした。米長さんは4人兄弟の末っ子で、3人の兄は全員東大でした。「3人の兄たちは頭が悪いから東大に行った。私は頭が良いから将棋の棋士になった」と言った天才肌の人なのですが、四段になった時には「オレはもっと遊んでいけばもっと強くなったはずだ」と言いました。記者が意味を問うと、「振り子」と同じで、真剣に勉強に取り組んだ後には反対側に振れてよく遊べる。一番悪いのは「振り子」が止まっている状態。遊びもしないしやる気もない。もっと遊べなかったということはもっと一生懸命勉強しなかったということ。「振り子」のエネルギーの大きさが大事なのだと言ったそうです。

JCの「本気で遊べ。」は、本気で遊べる状態をつくれるのは一生懸命やったからこそで、大してやっていなかったら遊んでも本気にはなれないということだと思います。我々もいろんな親睦をやりますが、それはロータリアンが奉仕を一生懸命やっているからこそこのことなのかなと改めて思いました。



【幹事報告】

RIレート1ドル154円。2/18(火)IM開催のため、19(水)例会の出欠は13(木)までに事務局に連絡をお願いします。(株)クマヒラ

からの寄贈「抜萃のつゞり」をご希望の方はお持ち帰り下さい。創業者が創刊されて今回84号目だそうです。1/22にMyROTARYの合同登録会を開催しましたが、問題がありまして、再度やり直すことになりました。「ガバナー月信」では飯能の登録率は17%となっていますが実際にはもっと高いはずなのです。登録がRIに届いていないようですのでリセットして改めて登録したいと思います。第3グループのアベレージ44%を今期中に超えたいと思いますのでご協力よろしくお願いします。



【委員会報告】

◎米山記念奨学委員会 伊澤君

新井景三会員より米山特別寄付3回目を頂きました。有難うございました(拍手)。

◎親睦活動委員会 小谷野君

飯能日高RC合同夜間例会(日高RC主幹)3/26(水)点鐘18時(ホテル・ヘリテイジ飯能)。参加申込3/5(水)まで。皆様のご参加をお待ちしております。

◎出席向上委員会 鈴木(勝)君

IMには22名から出席希望が提出されています。当日13時受付開始。飯能から事務局さんも行かれるのでそちらでお願いします。

◎青少年奉仕委員会 本橋君

2/8(土)9(日)「飯能ロータリークラブカップ第35回せせらぎ杯中学生卓球大会」が開催されます。会長幹事、直前会長幹事、当委員会、会報・広報委員会からメンバーが出席されます。ご都合がございましたら皆様も是非ご見学をよろしくお願い致します。

【出席報告】無届欠席1・MU0 鈴木(勝)出席向上委員長

会員数		当日	
全数	対象	出席数	出席率
67名	4名	59名	88.06%

【結婚・誕生日祝】 小谷野親睦活動委員長

◇入会記念日おめでとう

大附君、馬場君、矢島(高)君、大野(康)君
細田(吉)君、川口君、志岐君

◇結婚記念日おめでとう

市川君、大木君、佐々木君、森君、原島君

◇会員誕生日おめでとう

細田(吉)君、増島君、本間君、細田(伴)君
加藤君、矢島(高)君

◇夫人・夫君誕生日おめでとう

佐々木夫人、中川君ご夫君、福島夫人
鳥居夫人、川口夫人、小川夫人

【SAA報告】

伊澤副SAA

◎ニコニコBOX

- ・平井先生、本日は卓話よろしくお祝い致します。有難うございます。森君
矢島(巖)君、吉澤君、高橋君、本橋君
坂本君、都築君、鈴木(康)君、加藤君
- ・飯能RC様の例会には2度目の参加です。
本日はよろしくお祝いします。

(所沢RC) 本橋敬明様

- ・MUで参加させて頂きました。たくさん
のことを学んで帰ろうと思っています。本日は
よろしくお祝い致します。

(所沢RC) 吉田 慶様

- ・誕生日お祝い有難うございます。
細田(伴)君、加藤君
- ・入会記念日お祝い有難うございます。
大附君、矢島(高)君、川口君、大野(康)君
志岐君
- ・ロータリーバッジ有難うございます。馬場君
- ・所沢RC本橋さん、吉田さん、ようこそ。
矢島(高)君
- ・妻/夫の誕生日お祝い有難うございます。
川口君、小川君、中川君、鳥居君
- ・結婚記念日お祝い有難うございます。

森君、市川君、原島君

- ・長女が自由の森学園中学校に入学となりました。
本間君

本日計 91,000 円、累計額 946,018 円。

◎19日例会当番は福地、井上会員です。

【卓 話】

講師紹介

吉澤国際奉仕委員長

専修大学法学部法律学科を卒業、専修大学
大学院文学研究科修士課程を修了され、國學院
大學大学院文学研究科日本史学専攻博士課程
を取得。その後、駿河台大学スポーツ科学部
スポーツ科学科教授に就任。2020年9月
から1年間、フィンランドのオウル大学理学
部地理学研究ユニット客員研究員として教育
をしながら生活されました。帰国後、駿河台

大学副学長に就任。飯能の魅力をたくさん発信
されており、学会での発表もエコツーリズム
と観光地理学、フィンランドで考える森・
環境・教育、飯能におけるESDの取り組み等
多数されています。現在は名栗在住です。

Well-Beingな地域づくり

駿河台大学副学長

スポーツ科学部教授

平井純子様



たまたま「2月5日」
に撮影したフィンランド
の写真を紹介します。
北部のオウルという都市
で北緯65度位かな。道
路はこんな感じです。

まず自己紹介を致しま
す。飯能歴16年になりま

した。ここに来る前は北海道の世界遺産、知
床に居りました。行ったことのある方は3分
の1位でしょうか。知床では財団職員をして
おりまして、エコツーリズムを推進していた
関係で飯能がエコツーリズムの推進地だとい
うこともあり、駿河台大学の方に来たとい
うことになります。マイナス1年はフィンラ
ンドに居た1年間ということになります。オウ
ル大学では研究室を頂いていたのですが、コ
ロナ禍で大学に誰も来ていないという状況で
した。一緒に研究したかったのですが機会も
なく日本からも誰も来られずという感じで、
とにかくフィンランド中を歩こうというこ
とで歩きました。現在は駿河台大学副学長と
して学生支援を担当しています。スポーツ科学
部ではサステナブル・ツーリズム、環境教
育、地域資源の活用、森の活用等の授業を行
っています。2014年から6年程は飯能市のエ
コツーリズム推進協議会の会長として屋久島
で講演をしたり、京都の美山へ行ったり、全
国大会で飯能を「こんないいとこだぜ」と紹介
したりと、かなり外に出ました。過去には農
業委員会、森林審議会にも出ており、現在は
入間市の環境審議会委員、「しれとこ100平方
メートル運動の森・トラスト」関東支部委員
をさせて頂いております。

今日の話です。最近「ウェルビーイング」
という言葉をよく聞くようになっていま
せんか。2030年に向けてSDGsを推進し
ていますが、その次に来る概念がウェルビー

イングではないかと言われています。

皆さん、ウェルビーイングですか？ SDGsの3番目「すべての人に健康と福祉を」は、英語では“GOOD HEALTH AND WELL-BEING”で、ここでは「福祉」というふうになっています。結構古くから使われている言葉で、分野によって訳し方が違います。福祉分野では「福祉」、心理学では「幸せ」等と言っていますが、直訳すれば「良い状態」ですよね。ただの「幸せ」ではなくて広義の「幸せ」であるということです。“Happy”とか“Happiness”だと短期的で、その場所だけのものです。Well-Beingはもっと広い意味での「幸せ」、心だけの「幸せ」ではなく、身体的にも社会的にも「幸せ」であるということです。RCさんが目指すものというのも、本当に「ウェルビーイングを目指しましょう」と言っているのと同じなんだと、今日は改めて思いました。

「世界幸福度ランキング」2024年は143か国地域が対象になっています。評価基準は1人当たりのGDPと社会的支援の充実度、社会保障制度、健康寿命、人生の選択における自由度(日本が超弱いやつですね)、他者への寛容さ、寄付活動、国への信頼度(日本は結構低い)等で決められています。1位のフィンランドは2018年から7年連続で1位です。2位のデンマークも6年連続。「フィンランドすごいですね」と向こうで話すと、「そうなのかね」と言うフィンランド人は結構居ます。気象条件を考えると一年の半分は冬です。一番寒い時期はマイナス30℃位にもなり、娘にミニトマトを食べさせたら「硬くて食べられない」という感じになります。それでも子ども達はマイナス20℃までは外遊びしています。そして寒さよりも暗さの方が辛いのです。夏はほぼ白夜ですが、白夜がある



ということも極夜があるわけで、冬の時期は曇りが多く、2時間位しか明るくなりません。だからうつになる人が結構居ます。ただ、政治的透明度はすごく高く、クリアだと感じました。日本は曲がりなりに

も先進国と言われる国であるのに51位。去年は47位でした。その前年は54位。残念なことに日本では30歳以下の幸福度ランキングがもっと低くて73位です。若者が幸福だと感じられていないということなのです。

「ウェルビーイング」とは身体的、精神的、社会的に良好な状況になること。最近、幸せとか健康を重視する女子のことを「ウェルビー女子」と言ったりもします。「ウェルビーイングになるにはどうしたらいいのか」ということを研究している方が居られます。慶応義塾大学大学院教授、現在はウェルビーイング学部が設置された武蔵野大学で学部長をされている前野隆司先生です。幸福学の先駆的な研究をされているのですが、この方が次の「幸せの4つの因子」を提唱されています。

①「やってみよう」因子 (自己実現と成長の因子)

②「ありがとう」因子 (繋がりと感謝の因子)

③「なんとかなる」因子 (前向きと楽観性の因子)

④「ありのままに」因子 (独立と自分らしさの因子)

「ありありなんやっ！」と覚えて下さい。企業としてもちゃんと考えていきましょうと言われてます。幸せな従業員は不幸せな従業員よりも創造性が3倍、生産性も3倍になるというデータが出ているそうです。だから、従業員を幸せな状態にしておいて頂くことが重要です。不幸せな人というのは悩み事や心配事があれば手詰まりな状態に陥ってしまって創造性を発揮できません。幸せな人は多少の心配事があってもそれを乗り越えていく力があるということになっていきます。

私は飯能大好きで16年住んでいます、ウェルビーイングにいろいろやっていきたいと思っていて、いろいろやっています。大学の教員としては、地域の人と学生と一緒に、とにかく楽しいことしよう、ということです。先程、会長のお話にもあったと思うのですが「楽しいことしよう」はすごく大事だと思います。日本では詰め込み式の教育がずっとされてきていて、なかなか触れられないというのが思うのです。「楽しく学ぶ」というのが重要だと思っています。

廃材を使ってBBQコンロを作り、焚き火をしました。フィンランドではいろんな所にコンロがあって、国立公園内でも火を焚くことができます。薪割り用の斧が置いてあったりもするのです。U字溝をひっくり返して皆で焚き火して喜んでます。授業の時なので

すが、地域の人と一緒にマウンテンバイクのルートづくりを里山ですずっとやっています。

「浅見鉄工」さんにサウナストーブを作ってもらい、学生と一緒にサウナを作っています。「飯能まつり」には10年位学生と参加させて頂いています。山車を引く人が足りないということです。南高麗の細田では、地域の人と学生と一緒に、東京からゲストを呼んでエコツアーを実施しました。焚き火でごはんを炊ける所はあまりなくて、東京から来た人などはとても喜びますね。

2017年に「一般社団法人里山こらぼ」を立ち上げました。そこで「放課後児童クラブ」を運営しています。おやつに袋菓子を配っていたのですが、手作りのもの、地元素材を使ったものを食べてもらおうというので、変えました。今日は飯能産のお茶を使ったおやつを作っていましたね。今の子は「他人の作ったものなんか食べられない」と最初嫌がったのです。「えー？」と思ったのですが、今は慣れて残さなそうです。私も作っていて心が折れそうになっていたのですが、やっていくうちに「一生懸命作ってくれたんだよね。絶対残さない」と言って食べてくれるようになったのです。今、「竹害」と言われる位、竹の問題が大きくなっていますが、害のある竹を使って門松作りをしました。何も買ってこないで、地元で取れる素材だけで門松が作れます。

「(一社)里山こらぼ」ではエコツアーも行っています。今、獣害の問題があって、今は返納しましたが、私はフィンランドに行く前、鉄砲を持っていました。獣害の問題に関心があるので、猟友会の人に来てもらって、拓殖大学の学生と一緒に、獣害を知ってもらい、その場で食べてもらうという体験もしました。

名栗で「DASH村」みたいな古民家再生を10年以上やってきているのですが、ただ再生して終わりではつまらない、生産性がありません。そこで子ども達を呼んでキャンプして儲けようと、所謂アントレプレナー・シップ(起業家精神)ですね、それをちゃんとやっといこうということを始めました。都内からタワマンに住んでいるような子や、「僕、開成受けます。来年は来られないです」というような子も来ます。何で来られないか聞くと「受験しなきゃいけないから」。すると、その子が翌年もまた来たのです。「どうしたの?」と聞くと「去年これに参加したら全国模試10位で

した。お母さんが『行け』って言ったんです。その時、他の子どももたくさん連れてきてくれて『右手だけは怪我しちゃいけない』って言われました」と言った子も居ました。遠くには出せないけれど飯能なら1泊2日で行って来られるから出してくれたという感じで、毎年子ども向けのキャンプをやっていますが、いつもキャンセル待ちがある程です。そんなに安い金額ではやっていないのですが。

私には子どもが3人居て、一番下が中一で、地域の人と一緒に餅つきをしたり、毎年「子ノ権現」に行ったり、「お散歩マーケット」で販売したりと、地域と一緒に楽しんでいます。一応妻でもあるので、結婚してずっとお弁当を作り続けています。それも地域の素材を使おうと思っていて、例えばブルーベリーは自宅の庭で採れたものだったり、飼っていたニワトリの卵だったり、ベーコンとか燻製も自分で作ったりしていました。

飯能ってめちゃめちゃ地域資源があるんですよ。宝だらけだなんて思っているのです。飯能ネイティブの方が多いと思うのですが、気づいていらっしやらない埋没している宝がたくさんあると思うのです。他の地域から来た人にとってはものすごい宝で、ファンになる人がたくさん居ます。飯能のエコツーリズムはリピート率が50%以上なのです。

今、観光も「非日常」を体験するのではなく、「異日常」を体験するというように言われています。飛騨古川で外国人に自転車に乗ってもらって観光させている所があるのですが、何を見せているかと言うと、田んぼの中をずっと行くのです。そこで一番のアクターは「カエル」ですよ。外国人から見たらアマガエルがかわいくてしょうがないのです。二番目に皆が喜んで写真を撮るのは「小学生」です。黄色い帽子を被ってランドセルを背負って並んで歩いている姿なんて日本でしか見られないですから。皆さん、逆のことを考えてみて下さい。「赤いカエル」を見たら写真撮りますよね。「異日常」の体験は本当にすごいことなんだなと思っています。私は神奈川県出身なので埼玉の文化って面白いなと思っています。この地域資源のお蔭でウェルビーイングな状態をキープしているなと思っています。

こういうふうに考えられるのも、フィンランドに1年間居たことが大きく影響していると感じます。フィンランド人はアウトドアが

大好きなのです。私は漁協にも関係しているのですが、「日本では釣り人口が減っていて困るよね」と言うのですが、フィンランド人は釣りが大好きで、周りが湖だらけというのもあってボートも自分で持っていたりします。地産地消で、畑がちょっとあればどんどん自分で作ります。夏の間は短いですが、じゃがいもとかを植えています。BBQコンロの話をしました。そういった施設がそこらじゅうにあるのです。そんな所で皆、コーヒーを沸かしてスイーツを食べて、というのが文化としてある。イベントはとことん楽しめます。「夏至祭」は毎年6月末に開催されます。これはオーランド諸島、スウェーデンとフィンランドの間にある島での様子です。「メイポール」を立てて花輪を作って皆で踊りまくっていました。ここはフィンランド自治領ですね。

フィンランドでは困っている人が居たら必ず助けてくれます。乗っていた車のタイヤが側溝に落ちてしまったことがあったのですが道行く車が全部停まってくれて、皆で助けてくれるのです。涙が出る程嬉しかったです。真冬でも皆、自転車、ファットバイクに乗って楽しんでいます。サウナも楽しめます。

「Well-Beingな地域づくり」。いろいろ考えてそれは結局マインドづくりなのかなと思っています。昨日まで実は山陰の方に行っていて「米子鬼太郎空港」から帰ってきたのですが、時間があつたので境港の街並みを見てきました。『ゲゲゲの鬼太郎』でまちづくりをして良かったですね。閑散期の平日、時々吹雪くような寒い日だったのですが、休日の飯能銀座商店街よりも人が居ました(笑)。びっくりしたのですが、皆さん喜んで、笑顔で吹雪の中を

歩いているのです。こういうまちづくりって大事だなと思いました。便乗したグッズも売られていて、鬼太郎寄せでいろいろやっていて、面白いなと思いながら帰ってきました。

翻って「飯能市」というところはどうか。「第5次飯能市総合振興計画」の中で「オンリーワンの森林文化都市創造プロジェクト」をやろうと言って、「新たな森林文化の創造」を謳っています。でも、マインドはあるのかなと感じます。関わっている人が居たら申し訳ないのですが、もうちょっと何かできないかなというのはすごく思います。教育も「フィンランド式の教育」「学び合い」と言っていますが、すごい表面的だなと感じていて、机の配置を変えればディスカッションが進むというわけではないので、もうちょっと何かできないかなと…。「お金無い、お金無い」って飯能市は言っていますが、知恵は使って欲しい。知恵を絞り出せばできることはいろいろあるんじゃないか、というふうに非常に思っています。既存のものを踏襲するだけではなく、何かクリエイティブなことをやって欲しい。意識改革して欲しい。そういうまちにしたらいいなと思いました。

2025年3月のプログラム
(月間テーマ 水と衛生月間)

月 日	例会数	行事予定	当番 [担当委員会]
3. 5	3160	卓話「地球温暖化への取り組みについて」 飯能市役所 環境経済部環境緑水課 課長 関田賢二様	小崎 君平 沼君 [環境保全]
3.12	3161	定款による休会	
3.19	3162	卓話「自己紹介 および 日本で感じたこと」 米山記念奨学生 DO THUY LINH 様	望月 君安藤 君 [米山記念奨学]
3.26	3163	合同夜間例会 点鐘 18時	新井 君天ヶ瀬君 [親睦活動]

2月8日(土)・9日(日) 会場：飯能市民体育館
飯能ロータリークラブカップ
第35回せせらぎ杯中学生卓球大会 (35回記念大会)



【男子】

- 1位 東京都 調布市立第五中学校(仙川クラブ)
- 2位 埼玉県 さいたま市立日進中学校
- 3位 埼玉県 新座市立第二中学校

【女子】

- 1位 群馬県 Scrix(サイリックス)クラブ
- 2位 千葉県 栄町立栄中学校
- 3位 茨城県 下妻市立千代川中学校